

河川の情報

～ 酒匂川、狩川、仙了川、要定川、洞川、山王川 ～

○浸水想定区域図とは

本洪水ハザードマップの対象となる6河川では『浸水想定区域図』が作成されており、この図には各河川がはん濫した際に想定される浸水区域や水深の情報が記載されています。この浸水想定区域図が基となり、洪水ハザードマップが作成されます。なお、浸水想定区域図は外水のみを対象としているため、本洪水ハザードマップは外水によるはん濫を対象とし、内水によるはん濫は考慮していません。

○各河川がはん濫した場合の浸水状況

■酒匂川だけがはん濫した場合

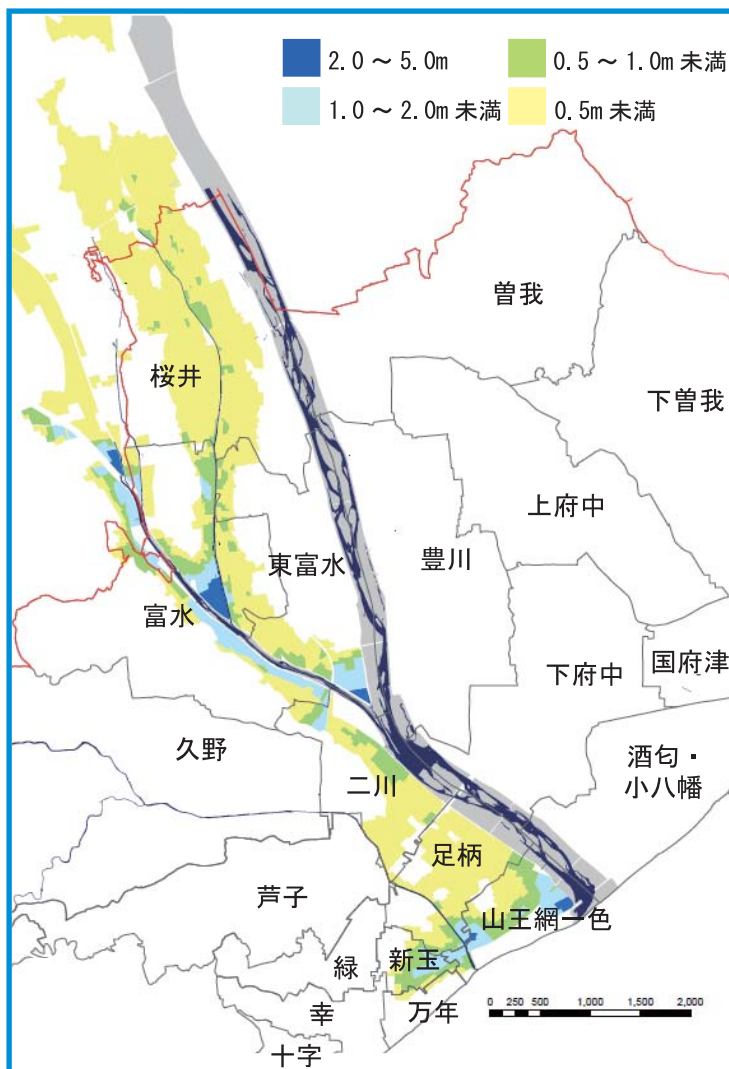
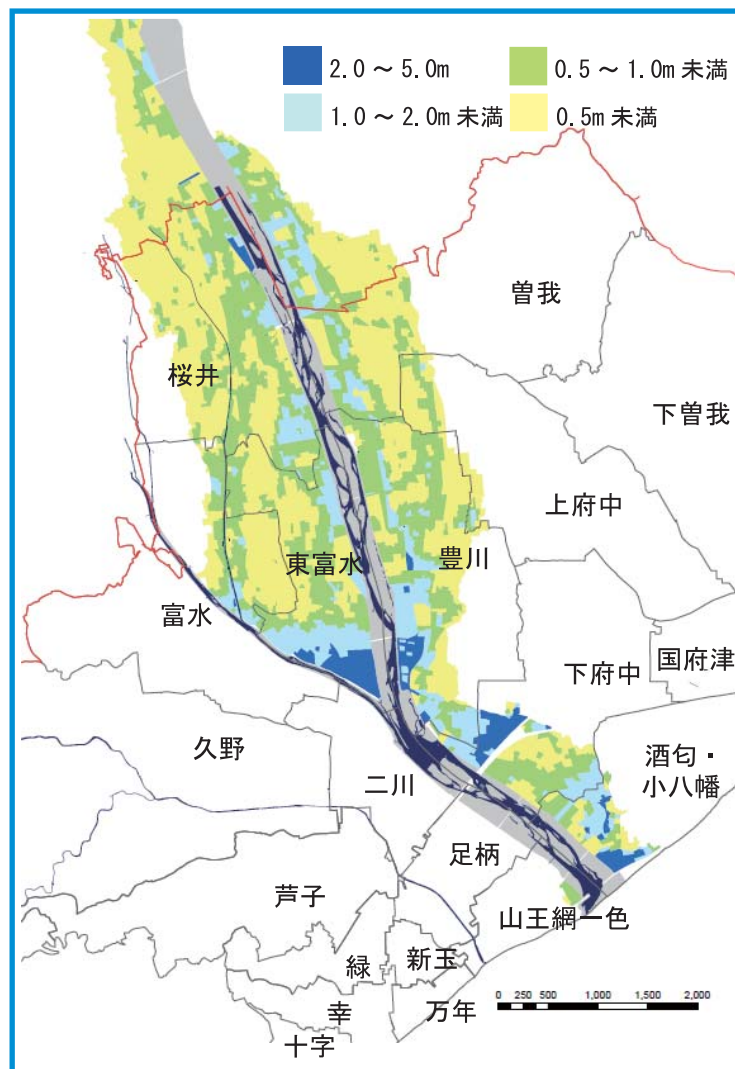
酒匂川は足柄平野を南流し小田原市で相模湾に注ぐ延長約46kmの川です。小田原市は酒匂川の最下流に位置します。小田原市内の酒匂川は堤防が築かれており、この堤防が決壊した場合、桜井・東富水・豊川地区などでは多くの範囲が浸水します。また狩川との合流部、下府中のJR線路北側などでは、2～5mの水深が予想されます。早めに安全な場所に避難しましょう。

■狩川・仙了川・要定川・洞川がはん濫した場合

狩川は南足柄市から小田原市の飯泉橋付近で合流するまでの延長約15kmの川です。途中で要定川・仙了川・洞川が合流します。小田原市内の狩川は堤防が築かれていますが、要定川・仙了川は堤防の無い掘り込み形状の川です。狩川の堤防が決壊した場合、はん濫水は酒匂川に沿って流下し、二川付近より南方へ広がります。また仙了川との合流地点付近は周辺と比べて地盤が低いため、浸水が深くなるのが想定されます。早めに安全な場所に避難しましょう。

■山王川だけがはん濫した場合

小田原市の明神ヶ岳から、久野川・坊所川などの支川を合わせ、相模湾に注ぐ、延長約9.5kmの小田原市街を流れる川です。洪水はん濫が発生した場合、山王川下流に向かってはん濫水が広がります。山王網一色地区、足柄地区では広域で浸水が予想されます。特に河口から200m～600mの地区は地盤が低いため、浸水が深くなります。早めに安全な場所に避難しましょう。



浸水想定区域図に関するお問い合わせ：神奈川県県土整備部河川課

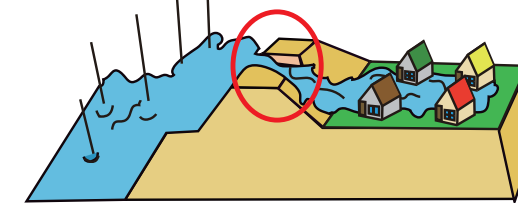
(TEL)045-210-6479 (URL)http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kasen/suibo/shinsui.htm

災害はこうして起こる

○河川災害

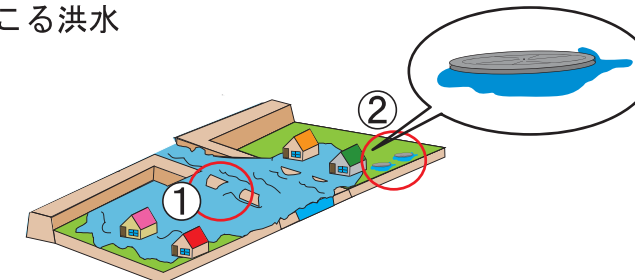
■外水はん濫

堤防の決壊や堤防を越えて溢れるなど水が川の外に流れ出します



■内水はん濫

- ①河川の本流の排水が間に合わず用水路や側溝、小河川などに逆流し、溢れ出して起こる洪水
- ②雨水が下水路や排水機場で排水できずにたまって、マンホールから溢れ出したりして起こる洪水



□局所的に地盤の低い箇所

ゲリラ豪雨のように局所的に強い雨が降ると、アンダーパスのような地盤の低い箇所は水がたまりやすくなります。局所的に地盤の低い箇所や浸水が深くなる箇所を事前に確認し、避難経路の設定に役立てましょう。



市役所けやき通り



上府中公園付近

○土砂災害

■崖崩れ



地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのが崖崩れです。突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなります。

崖崩れの前兆

- ・崖から出てくる水が濁る
- ・崖に亀裂が入る
- ・小石がバラバラ落ちてくる